



繊維製品の抗菌性試験方法及び抗菌効果

JIS L 1902 : 2015

(JTETC/JSA)

平成 27 年 7 月 21 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 消費生活技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	會 川 義 寛	お茶の水女子大学名誉教授
(委員)	浅 見 剛 尚	一般財団法人日本文化用品安全試験所
	阿 部 哲 也	一般財団法人製品安全協会
	金 丸 淳 子	公益財団法人共用品推進機構
	鷺 坂 和 美	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	佐々木 定 雄	一般社団法人日本ガス石油機器工業会
	佐 分 正 弘	公益社団法人消費者関連専門家会議
	寺 山 博 子	イオン株式会社
	都 築 和 代	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	中 里 憲 司	一般社団法人繊維評価技術協議会
	中野子 礼 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	夏 目 智 子	全国地域婦人団体連絡協議会
	平 井 郁 子	大妻女子大学
	平 野 祐 子	主婦連合会
	町 田 隆	一般財団法人家電製品協会
	山 口 公 樹	一般社団法人日本オフィス家具協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 2.11.1 改正：平成 27.7.21

官 報 公 示：平成 27.7.21

原 案 作 成 者：一般社団法人繊維評価技術協議会

(〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 12-9 滋賀ビル TEL 03-3662-4665)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：消費生活技術専門委員会 (委員長 會川 義寛)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 安全対策	3
5 試験機器	3
6 試薬及び培地	4
7 試験菌株	7
7.1 菌株	7
7.2 菌株の保存	7
8 試験手順	9
8.1 菌液吸収法	9
8.2 トランスファー法	12
8.3 菌転写法	14
8.4 ハロー法	17
9 抗菌効果	17
10 試験報告書	17
附属書 A (規定) 試験菌株	19
附属書 B (規定) 洗い出し法	21
附属書 C (規定) 混釈平板培養法による定量法	22
附属書 D (規定) 発光測定法による定量法	23
附属書 E (参考) 試験例	25
附属書 F (参考) 抗菌効果	28
附属書 JA (規定) 定性試験 (ハロー法)	29
附属書 JB (参考) JIS と対応国際規格との対比表	34
解 説	38

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人繊維評価技術協議会（JTETC）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS L 1902:2008** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

繊維製品の抗菌性試験方法及び抗菌効果

Textiles—

Determination of antibacterial activity and efficacy of textile products

序文

この規格は、2013年に第2版として発行された **ISO 20743** を基とし、我が国の技術動向を踏まえて、技術的内容を一部変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JB** に示す。また、試験例を**附属書 E** に参考として記載した。

なお、**附属書 JA** は対応国際規格にはない事項である。

1 適用範囲

この規格は、不織布を含む全ての抗菌性繊維製品の抗菌活性を評価する定量試験方法及び定性試験方法並びに抗菌効果について規定する。

この規格は、布はく（帛）、詰めもの、糸、衣服素材、寝具、家具用繊維及び雑品を含む全ての繊維製品に適用する。抗菌剤の種類は、有機、無機、天然又は合成を問わず、また、加工方法も、練り込み、後加工又はグラフト処理の種類を問わず適用する。

抗菌性試験方法は、抗菌加工方法、繊維製品の使用環境及び繊維製品の表面特性を考慮し、次の四つの試験方法の中から最も適切な方法を選択する。

- a) **菌液吸収法** 試験接種菌液を直接試験片上に接種する定量試験方法。
- b) **トランスファー法** 試験菌を寒天平板上に塗布し、試験片に転写する定量試験方法。
- c) **菌転写法** 試験菌をメンブランフィルタ上に配置し、試験片に菌転写する定量試験方法。
- d) **ハロー法** ハローの有無によって評価する定性試験方法。

また、生菌数の測定方法として、混釈平板培養法及び発光測定法を規定する。

なお、光触媒加工を施した繊維製品の抗菌性試験方法は、JIS R 1702 に規定されたガラス密着法によって行う。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 20743:2013, Textiles—Determination of antibacterial activity of textile products (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。